



## 「構造化」の必要性

### 自閉症の人々

何をしたいかわからない  
その場です適切な行動がわからない  
分かる方法で教えられていない

どうすればよいかわからない

自分のできること・安心できること  
憂さ晴らしの行動を取ってしまう

周囲には「困った行動」「奇妙な行動」  
になってしまう

## 「構造化」とは

自分を取り巻く世界を理解できるようにし

自分が何を期待されているのか分かるようにする（予測可能にする）

## なぜ「構造化」するのか

理解を援助 「わかる、できる」環境（状況）づくり 「わかる、できる」

不安や混乱から解放される（安心・落ち着き） 自立を援助（自立を助ける）



構造化は意図通りに『～させる』ための方法ではなく  
構造化は『受容性のコミュニケーション』を高めること

周囲の環境を自分にとって意味のあるものとして理解する



## 「構造化」で伝える（6つの情報）

- 1) いつ
- 2) どこで
- 3) 何を
- 4) いつまで
- 5) どのような方法で
- 6) 終わったら次何をする

## 「構造化」の方法

- 1) 場所の構造化（物理的構造化）
- 2) 時間の構造化（スケジュール）
- 3) 手順の示し方（ワークシステム）
- 4) 視覚的に分かりやすい工夫
- 5) 決まった手順（ルーティン）
- 6) 左 右・上 下の流れ

## 自主研修のご案内

〔自閉症〕 4月14日（水） 2時から 入門 生学室  
4月22日（木） 4時から 構造化について 教室をまわって  
5月 ?日 コミュニケーション

〔重心〕 テキスト「医療的配慮を要する児童生徒の健康・安全の指導ハンドブック」

隔週 金曜日 4時から 辻野学級  
第1回 5月14日 の予定です



